



東 俣 野 4月号

東俣野小学校 学校だより 令和5年4月7日

“ 出 会 い ”

学校長 幸保 陽子

春休みに、初めて東俣野小学校を訪れました。車が行きかう国道1号線を一步入ると、まるで別世界に入り込んだかのように静かな田園風景が広がっています。東俣野特別支援学校と並んでいる東俣野小学校。門をくぐると、しゃれた校舎が目の前に現れ、ピロティを抜けると満開の桜の木が校庭を見守っていました。数名の子どもたちの笑い声や明るい声が聞こえてきます。子どもたちの学び舎として、素晴らしい環境だと感じました。これからの新しい出会いに期待して、胸がわくわくしています。

さて、始業式では、子どもたちに「サイ」と「ゾウ」の話をしました。

「サイ」はいつも家の人に「やりなサイ」「頑張りなサイ」と言われています。一方「ゾウ」は「やるゾウ」「がんばるゾウ」と自分から進んで行動しています。皆さんは、どちらになりたいですか…と問うてみました。もちろん子どもたちからは「ゾウ」だと返事が返ってきます。きっと、学年が上がり、新しいクラスになり、やる気に満ちているのだと思います。おそらく今後も自分が好きなことや興味のあることには「やるゾウ」と進んで行動できるのだと思います。しかし、あまり好きでないことや興味がもてないことには前向きになれず、結局「やりなサイ」と言われてしまうこともあるでしょう。そこで、子どもたちには、一度に全部はできなくても少しずつ自分のできそうなことから挑戦してみる、見方を変えてみる、自分なりにできそうな目標を設定してみるなどを伝えました。

誰かに指示されないと行動できないのではなく、自分で考え進んで行動できる子どもの姿を目指していきたいと思っています。

そのためにも、周りの大人が、子どもたちが取り組んでいる様子を温かく見守り、励ましたり、ほめたり、認めたりすることが大切なのだと考えています。また、困っている時には一緒に考えることも必要なのかもしれません。

学校でも、全教職員がチームとなって、子どもとしっかりと向き合い、一緒に考え、ともに成長していきたいと思っています。同時に、学校を支えてくださる地域の方やボランティアの方とも連携し、より豊かな教育活動を展開し、子どもの興味関心をくすぐれるとよいと考えております。

今後とも、東俣野小学校の子どもたちのために、ご理解・ご協力いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。